

飯塚市立病院だより



旧伊藤伝右衛門邸

CONTENTS

1. 管理者のご挨拶
2. 副院長就任のご挨拶
3. 新人職員紹介
4. HCUの運用開始について
5. 令和7年度看護の日イベント開催

ご自由にお持ち帰りください

TAKEFREE



旧伊藤伝右衛門邸の概要

© 2025 飯塚市役所

旧伊藤伝右衛門邸は、筑豊炭田の発展とともに日本の近代化を支えた実業家・伊藤伝右衛門（1861-1947）の私邸として、明治から昭和期に建てられた代表的な近代和風建築です。現在、福岡県飯塚市に位置し、その歴史的・文化的価値から多くの研究者や文化人の注目を集めています。

この邸宅は、明治から大正にかけての産業資本家の生活様式と美意識を今に伝える、貴重な建築文化遺産です。書院造を基調にしつつも、西洋の意匠や近代的な設備を取り入れた和洋折衷の構成は、当時の上流階級における生活の近代化と伝統の共存を象徴しています。また、約2,300坪にも及ぶ敷地には、季節の趣を反映する回遊式庭園が整備され、庭園文化の粋を体現しています。